

大阪市立喜連北小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

ここ数年、安全・安心な学びの場としての学校の構築に向け、自己肯定感が高まる教育活動の推進・機動性ある組織的対応・関係諸機関との緊密な連携・校内環境の整備等に注力してきた。結果、年々、改善傾向がみられ、落ち着きのある安全・安心な学びの場になりつつある。さらなる改善に向けて、今後も継続的な取組が必要である。

ここ数年、国語・算数共に「全国学力学習状況調査」の平均正答率が、全国平均正答率を下回っている。しかしながら、令和 3 年度は、国・算ともに全国平均正答率との差が縮まる等、漸次、改善傾向が見られる。

運動面では、日常的に運動している子とそうでない子との差があることが大きな課題となっている。テストにおいて、令和 3 年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」では、男子は運動量も多く大阪市平均を超える種目が多数あった。しかしながら、女子については全体的に運動量が少ない傾向にあった。

学校現場におけるデジタル化は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全国的に加速された。本校においても授業をはじめとする学びや生活の中で学習者用端末等を活用する場面が急拡大した。今後は、より効果的な活用の仕方を先行実践から習得していく必要がある。

「教員の働き方改革」については、令和 3 年度においては、時間外勤務平均時間が校種別の大阪市平均時間を毎月大きく上回る等、本校喫緊の課題である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 95% 以上にする。
- ・令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和 3 年度より減少させる。
- ・令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の改善の割合を令和 3 年度より増加させる。
- ・令和 7 年度末の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和 3 年度より向上させる。
- ・令和 7 年度末の児童アンケートで「先生や友達とあいさつをしていますか?」「お家の人にあいさつをしていますか?」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 2 項目とも令和 3 年度より向上させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・令和7年度末の児童アンケートで「学校の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、95%にする。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1※を満たす教職員の割合を48%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・年度末児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度より向上させる。
- ・年度末児童アンケートで「先生や友達とあいさつをしていますか?」「お家の人にあいさつをしていますか?」に対して、肯定的に回答する児童の割合を2項目とも90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末児童アンケート（1年生を除く）で「学校の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、90%以上にする。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1※を満たす教職員の割合を48%以上にする。

※基準1 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下

大阪市立喜連北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標 (小・中学校) ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 学校園の年度目標 ・ 年度末児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を令和3年度より向上させる。 ・ 年度末児童アンケートで「先生や友達とあいさつをしていますか?」「お家の人とあいさつをしていますか?」に対して、肯定的に回答する児童の割合を2項目とも90%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 「いじめを許さない学級・学校づくり」を理念とし、子どもたちがお互いによく理解し合い、相手の立場に立って考える機会を多く設定する。 また、全ての子どもが自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係や教職員との信頼関係を確立できるような集団づくりに努める。 常に、いじめや問題行動の早期発見に努め、個々のケースに対して、生活指導部を中心に、教職員間の連携を図ると共に関係諸機関との連携を密にするなどして、状況に応じた多様な対応を行う。 (いじめへの対応)	
指標 ・ 看護当番は週のうち見守り強化日を設定する。 ・ いじめアンケートを学期に1回実施する。(低学年は紙媒体でもよい) ・ いじめ対策委員会等の場で、関係諸機関(スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・区役所・子ども相談センター)との連携が必要と判断した場合、管理職は速やかに、関係諸機関に連絡する。 ・ 不登校児童にオンライン学習を活用して学校とのつながりを意識させる。	
取組内容②【基本的な方向2、豊かな心の育成】 朝会講話や学級指導、地域と家庭との連携を通して、あいさつは、良好な人間関係を構築する上で生涯にわたって必要なものであることを児童に理解させる。 学級活動や委員会活動などを通して自己有用感が高まるような取り組みを意図的に設定していく。 (道徳教育の推進)	

指標 ・毎月1回、月曜朝会であいさつの大切さについて講話する。 ・あいさつへの意識が高まるような工夫を凝らしたあいさつ強調週間を学期に1回以上設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立喜連北小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小・中学校) ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.3ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 社会科を研究教科として取り組むことを通して、教員一人一人のさらなる授業力の向上を図る。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進) 指標 計画した研究授業・研究協議会や研修を予定通りに行う。	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 モジュールの時間を通じて、楽しみながら外国語(英語)に触れることができるようにする。 (英語教育の強化) 指標 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。	
取組内容③【基本的な方向5、健やかな体の育成】 子ども達がコロナ禍においても運動やスポーツに楽しく参加できる取組・企画を工夫し、計画実施するなど、運動やスポーツに親しむ機会を確保する。 (体力・運動能力向上のための取組の推進) 指標 専門の講師を招聘した授業を年に1回以上開催する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立喜連北小学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 (小・中学校) ・年度末児童アンケート (1 年生を除く) で「学校の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、90%以上にする。 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 ※を満たす教職員の割合を 48%以上にする。 ※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6、教育 DX の推進】 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて ICT 教育を推進する。また、ICT 機器の活用による子どもの生活や心の状況を可視化することを通して、経年的・客観的に子ども理解を図る。 (ICT を活用した教育の推進) 指標 学習者用端末を学習面または生活面で週 3 回以上は活用する。(1 年生を除く)	
取組内容②【基本的な方向 7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 前例踏襲ではなく、改革改善の視点で様々な取組を見直す。S. S. S. やインターンシップ等のボランティア学生をはじめとした外部人材を積極的に活用していく。 (働き方改革の推進) 指標 全ての教員が平均して週に 1 回以上は SSS やインターンシップの学生に業務を委託する。	
取組内容③【基本的な方向 8、生涯学習の支援】 読書環境の充実により、読書活動の活性化を図る。朝の読書タイム・図書館開放・ボランティアの方による「おはなし会」などの「読み聞かせ」等を推進する。また、書物の充実にも取り組み、図書館内の環境整備等もすすめることにより、調べ学習の習慣化など、読書好き・読書活動に積極的な姿勢をもつ児童の育成に努め、読書の習慣が身に付くようにする。 特に、読書のつまずきを少なくするために、校内での「読書名人漢字クイズ大会」など、目標を明確化しつつ漢字力を高めていく。 また、平野区より全校の子ども達に配布された「読書ノート」も活用することで、子どもの主体的な学習意欲を育成する。 (学校図書館の活性化) 指標 校内調査において「読書タイムでは、自分から進んで読書をしようとしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

